



## 【学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル】

標記は、文部科学省から本年6月16日付けで各学校にきた依頼文です。学校内での感染リスクを最大限抑えるために『新しい生活様式』の確立を家庭とともに徹底するようという内容です。『新しい生活様式』は、学校だけでなく、地域でも家庭でも意識していかなければなりません。第2波とも呼べる感染拡大が心配される中、ご家庭での指導もよろしくお願いします。

以下要約いたしましたのでご確認ください。

国内外の感染状況を見据えると、新型コロナウイルス感染症については長期的な対応が求められる状況です。こうした中でも、持続的に生徒の教育を受ける権利を保障していくため、学校における感染およびその拡大のリスクを可能な限り低減したうえで、学校運営を継続していく必要があります。本感染症については、いまだ不明な点が多く、有効性が確認された特異的なワクチンは存在しません。国内外の感染状況を見据えると、私たちは、長い間この新たな感染症とともに社会で生きていかなければなりません。

このため、学校においても「3つの密」を徹底的に避ける、「マスクの着用」及び「手洗いなど手指衛生」など基本的な感染症対策を継続する『新しい生活様式』を徹底することで感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減しつつ、教育活動を継続し、生徒の健やかな学びを保障していくことが必要です。

しかしながら、感染症対策を徹底しつつも、感染のリスクはゼロにすることはできません。それを前提として、感染者が確認された場合のことも想定しなければなりません。生徒本人、保護者、あるいは教職員が感染者・濃厚接触者となった場合の対応については、設置者である横須賀市が、学校内で感染が広がっている可能性についての疫学的な評価を踏まえた判断・対応をします。同時に学校として、対象生徒が差別・偏見・いじめ・誹謗中傷などの対象にならないよう配慮及び注意をまいります。

学校として

『新しい生活様式』を実践するためには、生徒への指導のみならず、朝の検温や共用物品の消毒、接触の多くなる休み時間や登下校時の見守りなどを引き続き行い、家庭と連携して感染の拡大を防ぐ努力が必要です。

臨時休業中においての子どもの感染事例は全国で146件ありましたが(R2.6.16段階)、その多くは家庭内での感染(146件のうち107例)と言われています。何よりも学校内へ外部からウイルスを持ち込まないことが重要であり、このためには各家庭の協力が必要不可欠です。毎日の健康観察はもちろんのこと、家族に発熱・咳などの症状がある場合には生徒の登校を控える、休日において不要不急の外出を控える、家族ぐるみの交流による接触を控えるなど学校を通じた人間関係の中で、感染が広がらないように細心の注意が必要です。



\*6月22日、1年6組担当の篠塚真志先生に第3子が誕生しました。

おめでとうございます！

大変な時に授かったので、きっとこの日は生涯忘れないでしょう。お健やかに！

教育目標  
共に学び 共に喜び 共に誇れる  
常葉中学校を築く

横須賀市立常葉中学校

〒238-0004 小川町18

☎ 825-7410

裏面に続く

## 【今年度の修学旅行を中止いたします】

3年生の保護者には校長名の文書にてお知らせしています。今年度の修学旅行は、現在及び今後の感染拡大状況を鑑み、横須賀市として9月・10月の修学旅行は取りやめることといたしました。2月あるいは3月への再延期も可能性としては残っていますが、万が一状況が好転せず、三度延期もしくは中止となった場合、学校(保護者)負担のキャンセル料が発生することになります。大変残念ではありますが今年度の修学旅行は中止という判断をいたしました。卒業行事として行っているスキー実習は現段階では実施予定です。ご理解賜りますようお願いいたします。

## 【渡辺友佳先生が産休に入ります。代替として合澤 寛信 先生が着任しました】

7月22日付の文書にてお知らせの通り、1年英語科の渡辺友佳先生が産前休暇に入りました。9月出産予定です。7月27日より代替教諭として合澤寛信(あいざわ ひろのぶ)先生が着任しています。渡辺先生が担当していた1年全クラスの英語・国際教室などを担当します。部活動は科学部の副顧問です。よろしくお願いいたします。

## 【リズムのある、規則正しい生活を！】

今年の夏休みは6日(木)から17日(月)までの12日間です。少し寂しい気もしますが、3カ月におよんだ休校期間を考えると仕方のないことですね。むしろ、その分授業時間が確保できたわけですから喜ばなくてはいけませんね。

たとえ12日間でも、主な生活の場が、学校から地域、家庭に戻りますので、感染症対策も含め、様々な注意して生活することが必要です。過ごし方ひとつで18日からの生活が良くも悪くも大きく変わってきます。【夏休みの過ごし方留意点】を参考に、リズム正しい夏休みが送れるよう努力してください。

また、3年生にとっては夏休みだからと言ってのんびり構えているわけにはいきませんね。特に今年は1日1日、1時間1時間がとても大切になってきます。

家庭や地域で生活する時間が多くなり、学習面や生活面など、その生活のすべてがそのまま8月18日からの前期後半戦に影響してきます。進路開拓の重要な期間となる後半戦へ向けての準備をお願いします。1・2年生も同様です。12日間の夏休みは骨休めではなく、9・10・11・12月へ向けての準備期間として捉えてください。

## 【夏休みの過ごし方留意点】



(1) リズムのある生活を心がける。

- \*朝起きる時間をきちんと決める(毎日同じ時間に起き、生活のリズムをつくる)。
- \*学習する時間を決める(朝の涼しい時間がよい)。
- \*食事の時間もバラバラにならないようにする。
- \*就寝時間をきちんと決め、実行する(遅くとも23:00には床につく)。

- (2) 友人宅に外泊はしない(親の知らないところで非行・感染が始まる)。
- (3) 帰宅時間が遅くならないようにする(県条例で23:00以降の外出は保護者同伴でも禁止です)。
- (4) 家庭内で役割を決め、お手伝いを積極的にする(家族の一員という意識を高めましょう)。
- (5) 部活のある人は、体調に合わせ、積極的に参加する。
- (6) 地域の一員としての自覚を高める。地域の方々へ迷惑をかけない、挨拶をしっかり行う!
- (7) 当然のことですが、酒・たばこに手を出さない。
- (8) 髪の毛・まゆ毛等をいじらない。
- (9) 3年生は進路関係の日程(学校説明会など)を整理し、計画表に記入する。